

はまかせ

風が運ぶお知らせ便り♪

2015
Vol. 10

ワンランク上の病院をめざして

私たちは、患者さんの意思を尊重し、高度で良質な医療を提供することによって、地域社会に貢献します。

兵庫県立甲山森林公園

nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp

Message メッセージ

耳鼻咽喉科診療の現況

■概要、Q&A、スタッフ紹介 etc.

Information お知らせ

■にしびょうTopics

手術セミオープンシステム

■看護師の一日

褥瘡専従看護師 市位理恵

■院長エッセイ「四季雑感」

内臓脂肪と抗菌ペプチド

■医療技術NOW!

放射線部門システム

■絵の中の風景を旅するvol.10

にしびょう美術館館蔵品を毎回紹介



耳鼻咽喉科診療の現況

耳鼻咽喉科部長：坂田 義治、耳鼻咽喉科医師：平井 崇士



耳 耳鼻咽喉科といえばどのような病気を連想されますか？まずは中耳炎や鼻炎、上気道炎（かぜ）などの耳、鼻、のどの病気を思い起こされると思います。実際には耳鼻咽喉科の取り扱う範囲は広く、脳と目をのぞく首から上の部位である頭頸部を守備範囲としています。喉頭がん、舌がん、甲状腺がんといった悪性腫瘍や顔面のけがや骨折なども診療対象となります。頭頸部の手術となりますと形態や機能も重要となりますので形成外科的な要素も含まれます。また、難聴やめまい、コミュニケーションに必要な音声言語の障害、食べる事に必要な嚥下、嗅覚、味覚などいろいろな機能や感覚器の障害も扱っています。

頭 頸部がんの頻度は全身の悪性腫瘍の約5～10%といわれています。部位によっては症状が現れにくく、進行がんになって初めて見つかるケースも少なくありません。治療には手術、放射線、抗がん剤治療を組み合わせ、できる限り摂食や音声などの機能を温存するように心がけた治療を選択しますが、やはり早期発見が大事になります。最近導入された鼻・咽喉頭用電子スコー

プ検査装置は最新式の高解像ハイビジョンによるもので細かな病変も鮮明に映し出せるようになりました。さらにNBI(Narrow Band Imaging)と呼ばれる特殊な光で画像を作る事で、今までは捉える事ができなかったより小さな病変を発見する事が可能となっています。

当 院の救命救急センターには阪神地区から転倒転落、交通事故などの外傷患者が多く運ばれてきますが、中には顔面の骨折などを合併した方もおられます。まずは救命が第一となりますが早期から介入する事でスムーズに顔面骨骨折などの治療につなげる事ができます。中には失明の危険などのため至急に処置しなければならない場合もあり、早急な対応ができるような体制をとっています。

患 者さんや地域のニーズに応えられるようにさらに研鑽し、地域医療へ貢献していく所存でおります。今後ともさらなるご指導、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科について質問!
INTERVIEW



Q 鼻の手術をすると、顔に傷が残りますか？

A 鼻の手術は、全身麻酔下で内視鏡を使用し手術を行います。
鼻の入口から器具を入れて手術を行うので、顔には傷や変形は残りません。

Q 急に音が聞こえにくくなりました。どうすればよいですか？

A 突発性難聴の可能性があります。突発性難聴の場合、3日以内に治療を開始しないと治りにくい場合があります。診療所・病院へ早めの受診をお勧めします。

(耳鼻咽喉科外来看護師 黒田桂子)

最新情報

ナビゲーションを用いた 内視鏡下鼻副鼻腔手術

鼻や副鼻腔の手術では約20年前より内視鏡による手術が行われるようになり、すっかり定着した手術となりました。さらに、技術や手術機器の進歩によってより多くの疾患に対する治療が行えるようになってきました。手術用ナビゲーション装置は磁気や光学的なセンサーを用いて、手術器具先端の位置がリアルタイムでCT画像上に1mm以下の精度で示されるため、より正確、安全に深部の手術操作が行えるようになりました。鼻副鼻腔手術には積極的に同装置を用いて、安全、安心な手術を目指しています。

(耳鼻咽喉科部長：坂田義治)



スタッフ紹介



- 坂田 義治(耳鼻咽喉科部長)
- 平井 崇士(耳鼻咽喉科専攻医)
- 溝口 えつ子(看護師)
- 東田 澄子(看護師)
- 梅澤 麻衣子(看護師)
- 野口 弘美(外来看護補助)

手術セミオープンシステムを導入しました

2015年2月より産婦人科では『手術セミオープンシステム』を導入いたしました。地域連携の緊密化が目的です。事前に登録して頂いた先生方に、患者さんを紹介して頂き、当院の医師が手術する際、紹介して頂いた先生方にも手術に参加、指導して頂くと言うものです。産科領域では帝王切開手術を、婦人科領域では良性疾患手術を考えています。患者さんの安心感の向上と手術後の紹介元でのフォローもスムーズになると期待しています。

(産婦人科部長 増原完治)

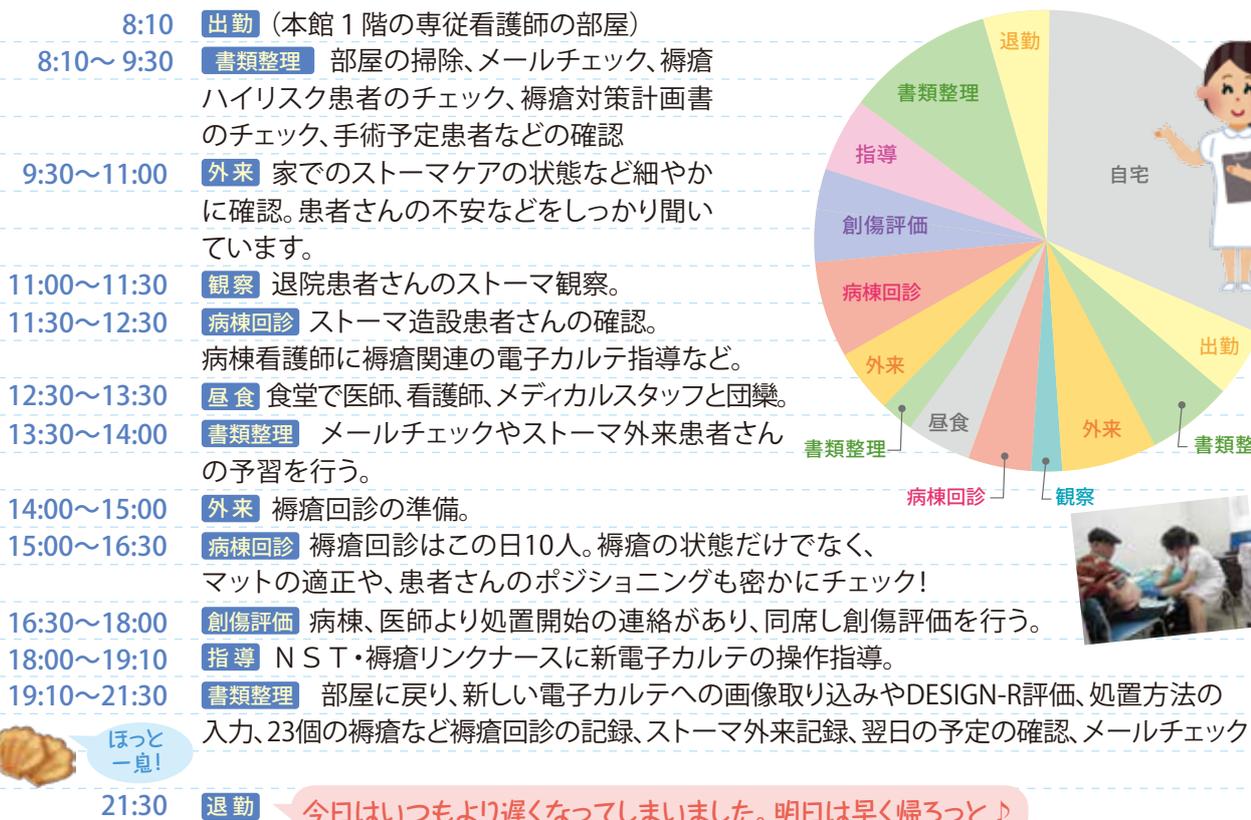


ご相談お待ちしております！



看護師の一日

今回は、当院で褥瘡専従看護師として働いている市位理恵さんの日常に密着します。



~密着結果~

ほとんど専従のお部屋に居ることはなく、外来・病棟・医事課・経理課等を走り回っていました。忙しい中であっても、患者さんとの対応ではゆっくり、じっくりお話しを聞き、多岐にわたる相談にのっている姿が印象的でした。電話の嵐!処置・外来・移動中もいたる部門から電話での問い合わせや、処置の依頼が多い。本当にお忙しいことを痛感しました。でもいきいきとしていました。これからもがんばってください。(調査員K)

四季雑感



オ ゾン層の破壊が指摘されて以来、大型連休を迎える頃には、誰もが紫外線を強烈に意識するようになります。紫外線は私達を病原性微生物の繁殖から守ってくれてきたわけですが、一方では日焼けや皮膚がんの原因にもなります。

汗ばむような季節になると、そろそろ病原性大腸菌などによる食中毒や感染性胃腸炎が話題になります。生物は進化の過程で、複雑な免疫機構を作り上げてきましたが、最も進化したはずのヒトでさえ、未だに感染症の脅威に曝されています。

ところが、抗体などを作れない、未熟な免疫機構しか持たない昆虫などは、病原性微生物からどのようにして身を守っているのでしょうか。彼らは抗菌ペプチド(たんぱく質)を作って、その働きで細菌の細胞膜を破壊することで感染から逃れています。

さて、ヒトではどうでしょうか。もちろん人体でも、昆虫とは種類が異なりますが、数種類の強力な抗菌ペプチドが作られています。たとえば、腸管ではディフェンシンと

いう抗菌ペプチドを産生して、腸内細菌が体内に入るのを阻止しています。最近では自然界に存在する抗菌ペプチドを食中毒の予防に使う試みがなされています。このような抗菌ペプチドは、一旦ヒトの口に入れば、消化管から分泌される消化酵素で分解されるので、副作用の心配がないというわけです。

面白いことには、脂肪細胞が抗菌ペプチドを分泌することが見出されています。皮膚に化膿菌が感染すると、皮下に脂肪細胞が増殖して、その際にカテリシジンという抗菌ペプチドが作られ、分泌されるということです。

脂肪組織にこのような抗菌作用があるとは驚きですが、実際、昔から腹腔内は抗菌性が比較的高いと言われていましたし、ここに炎症があると、腸間膜にある脂肪組織がその周囲を包みこむことが観察されています。生活習慣病の予防という観点からすると、ともすれば悪玉と目されている内臓脂肪にも、生体を防御する新しい機能があるのかもしれませんが。



兵庫県立西宮病院 院長
河田 純男

医療技術 NOW!

西宮病院の「NOW」がわかる。

【放射線部門システム】

電子カルテ更新に伴い、放射線部門システムを更新しました。放射線部門システムは放射線情報システム、放射線治療情報システム、検像システム、マンモビューワー、PACS、レポートシステム等で構成されており、医療情報システムの重要な部分を占めています。今回導入したシステムの特徴として、電子カルテから一元管理の画面で放射線画像、内視鏡、エコー、レポートなどが閲覧可能となっています。さらにPACSビューワーから3D処理が可能のため、電子カルテがあるところでは3D画像を閲覧のみではなく、作成も可能なシステムとなっています。これら最新のシステムを使って、安全で質の高い診療支援の提供が出来るよう努めてまいります。

(検査・放射線部 竹鼻宏明)

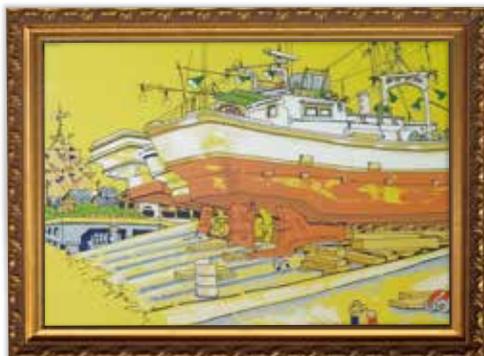


放射線部門システム

絵の中の風景を / 旅する vol.10

<http://www.nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp/>

当院外来ロビーや各病棟には、地域の方々や入院患者さん、そのご家族などからのご寄付による200以上にのぼる絵画が飾られています。“にしびょう美術館”の貴重な“館贈品”は、当院ホームページ内の「にしびょうWebミュージアム」でも常設展示していますが、これらの作品の中から、毎回、ちょっと気になる1作品をとり上げてご紹介いたします。一緒に、絵の中の風景を旅してみませんか。



展示場所

本館1階渡り廊下
薬剤部横の壁面

陸(おか)に上げられ、修理・点検中のイカ釣り漁船。今はきれいにお化粧直しの真っ最中だ。イカ釣り漁は、夜間にこうこうと漁灯を点灯させ、光に集まるイカを漁獲する方法で、この船はこれまでどれくらいのイカを釣り上げたのであろう。船も車と同じように5年～6年で、船体、機関、設備等の全般についての定期検査がある。イカの漁獲量日本一は、重さなら北海道、頭数なら富山県と聞くと、新品同様になった船で、たくさんのイカを釣り上げ、大漁旗を揚げながら、浜に帰ってきてほしいものだ。

(総務部:足立彰久)

～寄附金への感謝～

西宮病院への寄附につきましては、患者さんの療養生活の改善のために有効に活用させていただきました。ありがとうございました。

平成26年度寄附金額(円)	購入物品
1件 100,000円	車いす、デジタル体重計、マットレス 他
1件 500,000円	ストレッチャー、洗髪用椅子

編集後記

編集室



青葉が目眩しいこの頃、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。いつも地域連携便り「はまかぜ」をご覧いただきありがとうございます。昨年度は、病院機能評価の受審、周産期救急医療センターの開設、電子カルテの更新等があり、慌ただしい1年でしたが、計画通り運用できました。これもひとえに地域の先生方のご支援・ご協力あつてのことと深く感謝いたしております。これからも「1ランク上の病院をめざす」を院内の合い言葉として職員一同励みますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(薬剤部長:中谷宰士)

H A M A K A Z E

2015
Vol. 10

兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号
TEL:0798-34-5151(代表) FAX:0798-23-4594

地域医療連携センター FAX:0798-34-4436

E-mail:chiiki-kn@hp.pref.hyogo.jp

nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp

2015.05 発行